

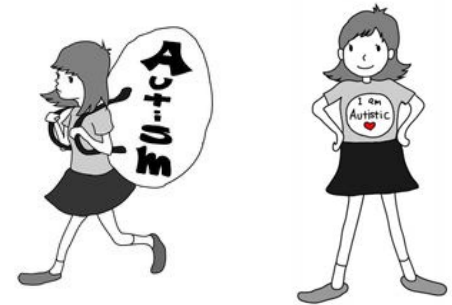


〈筑波大学ダボットプロジェクト〉 〈オールマイノリティプロジェクト〉 共催
「発達障害の“障害”は社会のどこにあるのか？」トークイベント 2023年7月23日（日）

発達障害のある人の社会的孤立・孤独と マイクロアグレッション



All Minorities Project



Fumiyo Oshima Ph.D.

Research Center for Child Mental Development,

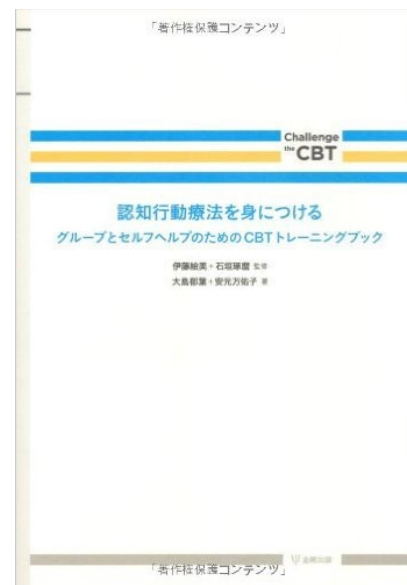
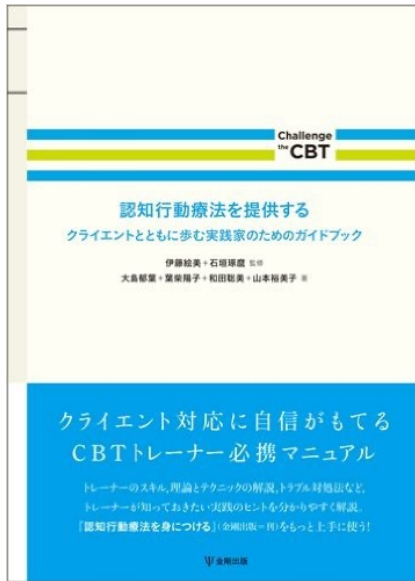
Chiba University



CHIBA UNIVERSITY

本日の発表内容

- 自己紹介
- 自閉スペクトラム症とは
- 自閉症者のメンタルヘルス
- 自閉症者のメンタルヘルスと関連する諸問題：スティグマ・社会的カモフラージュ・マイクロアグレッション
- 社会的介入：オールマイノリティプロジェクトの関連研究の紹介
- 個人的介入：ACATの研究紹介
- Take home message



自己紹介

- 臨床心理士/公認心理師
- 認知行動療法を用いた児童思春期以降の自閉症者に対する介入研究
- 自閉症者のメンタルヘルスやスティグマに関する研究(心理社会的側面より)



Celebrate Neurodiversity



前置き ニューロダイバーシティとは

- 自閉症やADHDなど、神経発達症を神経や脳の違いによる「個性」だとする概念
- 自閉症は集団が持つ多様性の一部であることから、社会はASD者に現状の社会への適応を強制するのではなく、その多様性を受け入れて法でうたわれた機会の平等を実現すべきである、という主張

(千住ら,2022)



本日の発表内容

- 自己紹介
- 自閉スペクトラム症とは
- 自閉症者のメンタルヘルス
- 自閉症者のメンタルヘルスと関連する諸問題：スティグマ・社会的カモフラージュ・マイクロアグレッション
- 社会的介入：オールマイノリティプロジェクトの関連研究の紹介
- 個人的介入：ACATの研究紹介
- Take home message



自閉スペクトラム症とは

① 社会的コミュニケーション（現在まで）

- a) 社会的情緒的相互性
- b) 社会的交流に用いる非言語的コミュニケーションの障害
- c) 発達段階に相応した、対人関係を発展させ、維持することと、社会的な文脈に行動を適応させることの障害

② 限定した興味と反復行動（現在あるいは過去）

- a) 常同的、あるいは反復する話し言葉、運動・動作、あるいは物体の使用
- b) 型にはまった習慣（ルーチン）への過剰な固執、言語的、あるいは非言語的行動の儀式的様式、あるいは過剰な変化に対する抵抗
- c) 強さや焦点が異常な極めて限定され、固定した興味
- d) 過剰な、あるいは、過小な感覚入力に対する反応性、または環境の感覚面における通常ではない関心





どのような状態が 「自閉スペクトラム症」であるのか

- 対人コミュニケーションの障害
限定された反復的な行動様式 → 自閉症の特性がある(5-10 %)
- その症状は、社会的、職業的、その他の重要な領域における
現在の機能に臨床的に意義のある障害を引き起こしている

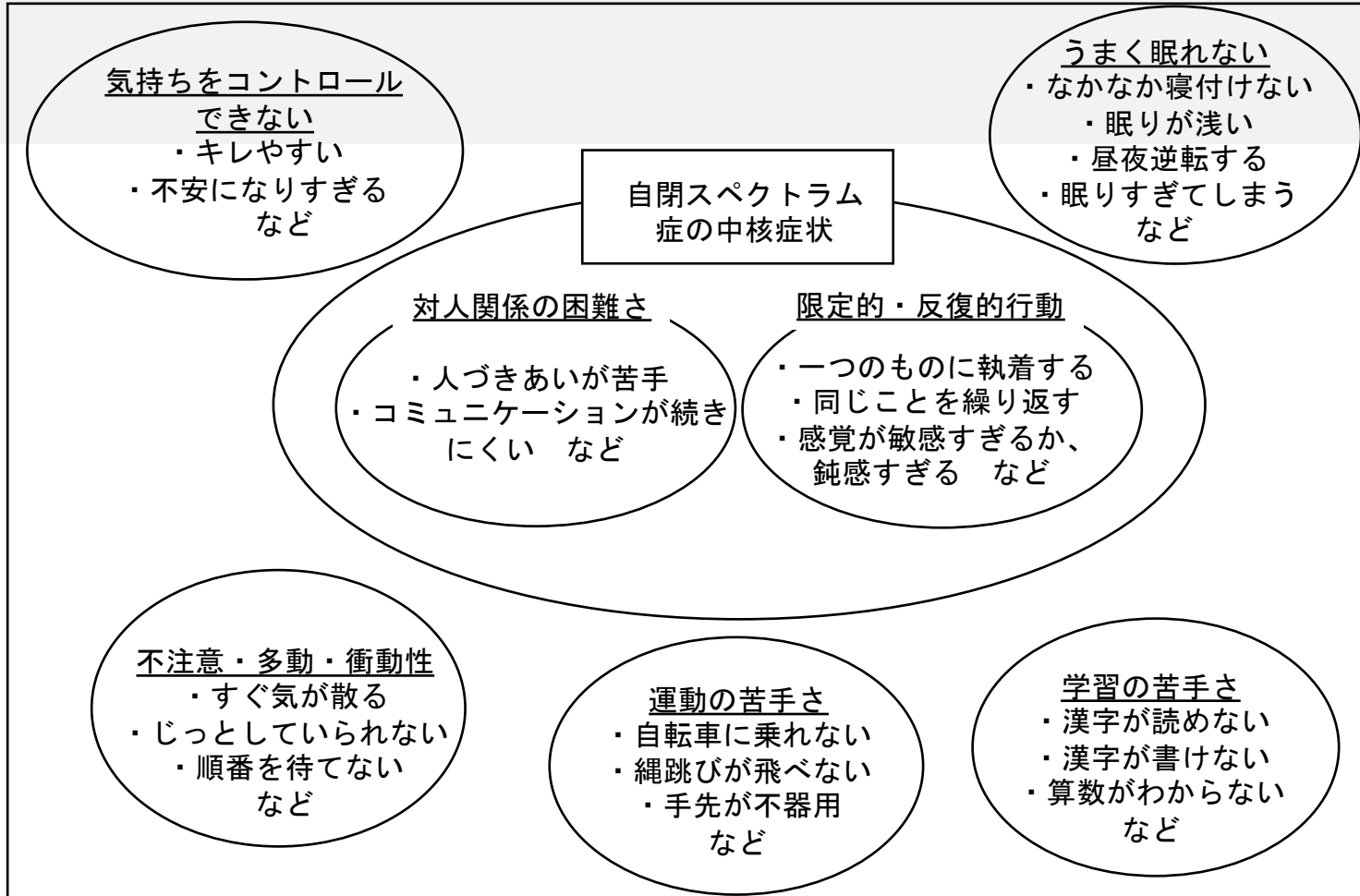
→ 自閉症の診断がある(1-5 %)

自閉症の特性は生涯保有するものであるが、
自閉症の診断は生涯保有ではない





自閉スペクトラム症の中核・周辺症状



ASはいろんな発達障害が重なっていることが多いよ！





自閉スペクトラム症の何が障害となるか？ (Baron-Cohen, 2021)



既存の社会との障害となり得る特性

異質性

- ・ 言語能力
- ・ 知能

等

同質性

- ・ 社会的コミュニケーションの困難
- ・ 同一性への要求
- ・ 予期せぬ変化に対して対応すること
- ・ 感覚過敏
- ・ 繰り返しの行動や思考を好む
- ・ 関心を持つ分野が極端に狭い

等

既存の社会との差異となり得る特性

- ・ 感覚の鈍感さ
- ・ 独特の認知力
- ・ オリジナリティ
- ・ 細部への注意や記憶力

等

「障害」と「差異」との分別は
言語能力と知能、他の神経発達症や
併存疾患の有無により大きく異なる



自閉スペクトラム症（ASD）の呼称

「症状」「アイデンティティ」？

近年の脳機能の多様性（Neurodiversity）運動の進展により、ASDの診断を持つ当事者は自身を障害者としてではなく、**自身の脳機能の特性が、現代社会の要請と食い違いを見せる社会的少数者としてのアイデンティティを持つことも多い**（千住, 2022）

呼称の種類

Autism Spectrum Condition（自閉スペクトラムの状態）

Autistics（自閉的）

Autistic People（自閉的な人）

※日本語訳はまだ定まっていない

Original Article

Which terms should be used to describe autism? Perspectives from the UK autism community

Lorcan Kenny¹, Caroline Hattersley^{2,3}, Bonnie Molins², Carole Buckley⁴, Carol Povey² and Elizabeth Pellicano^{1,5}



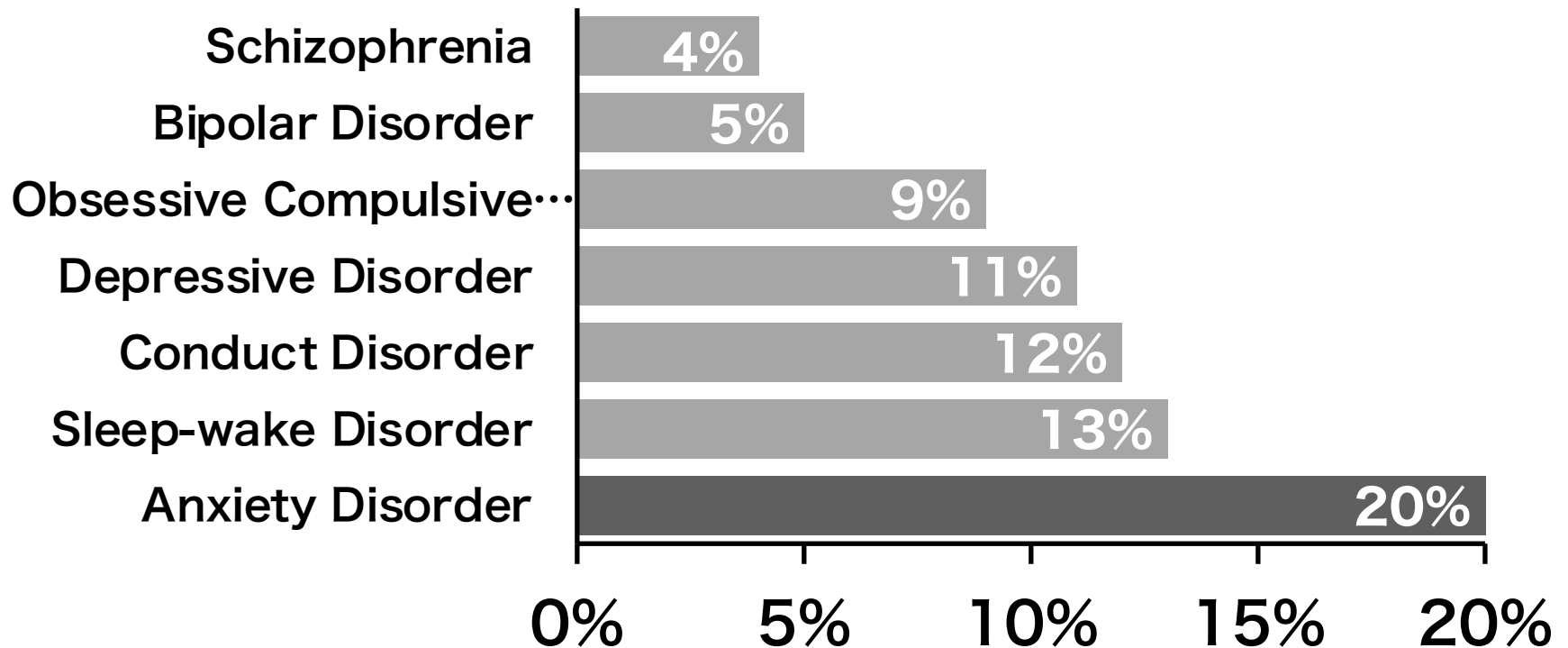
Autism
2016, Vol. 20(4) 442-462
© The Author(s) 2015
Reprints and permissions:
sagepub.co.uk/journalsPermissions.nav
DOI: 10.1177/1362361315588200
aut.sagepub.com
SAGE

本日の発表内容

- 自己紹介
- 自閉スペクトラム症とは
- 自閉症者のメンタルヘルス
- 自閉症者のメンタルヘルスと関連する諸問題：スティグマ・社会的カモフラージュ・マイクロアグレッション
- 社会的介入：オールマイノリティプロジェクトの関連研究の紹介
- 個人的介入：ACATの研究紹介
- Take home message

自閉スペクトラム症の成人とメンタルヘルス①

(Lever and Geurts, 2016)





自閉スペクトラム症の成人と メンタルヘルス②

- 自閉症の人がメンタルヘルスに問題を抱えると . . .
- 生活の質（QOL）が低下する (e.g., Helles et al., 2017)
- 機能レベルが低下する (Chiang & Gow, 2016)
- メンタルヘルスの問題がさらに悪化する危険因子として作用する (e.g., ADHDからうつになる; Mayes et al., 2014)
- 自閉症の人の高い死亡率に大きく寄与する (Schendel et al., 2016)

本日の発表内容

- 自己紹介
- 自閉スペクトラム症とは
- 自閉症者のメンタルヘルス
- 自閉症者のメンタルヘルスと関連する諸問題：スティグマ・社会的カモフラージュ・マイクロアグレッション
- 社会的介入：オールマイノリティプロジェクトの関連研究の紹介
- 個人的介入：ACATの研究紹介
- Take home message

スティグマとは

- 個人のもつ属性によって差別や偏見の対象となること

(Goffman, 1963)

自分は
人並み以下だ・・・

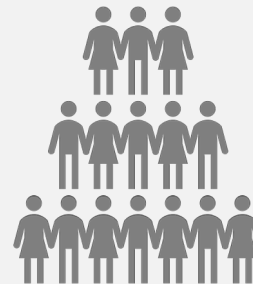
マイノリティ



(自己スティグマ)



マジョリティ



(社会的スティグマ)

「普通」は
こうするよ？



自閉スペクトラム症と 社会的スティグマ

- **ASD**者は、それほど支援を必要としない人も含め、日常的な社会的相互作用において深刻な社会的困難に直面する場合がある。
- **AS**者の社会相互作用の困難に関する研究は、社会的障害の一因となる認知的・神経学的な障害を特定することに重点を置かれてきたが、近年、非**ASD**者が**ASD**者に対し、**ASD**を理由にスティグマを持つことが分かってきた。
- 周囲からのスティグマの反応によって、**ASD**者が本人の機能障害に加えて、より困難さを抱えてしまうという実態があるかもしれない




自閉スペクトラム症と 社会的スティグマの先行研究

- 非ASD者は、ASDである上司や恋人を持つことを望まない（Jensenら,2015）。
- 非ASD者は、全てのASD者が特別な才能を持ち、交友関係を持つことに興味がなく、危険な人である、という「迷信」を信じている（Johnら,2017）
- Sassonら (2017) は、非ASD者は、ASD者を第一印象を好ましくないと判断し、そのためその人との関わりと始めようとしなないことを明らかにした。

→ASD者の社会的困難については、ASDの特性からの視点のみならず、関わる相手側からのスティグマの視点も必要

ASD ? HSP ?

ダメ人間 だと思ったら HSP でした!



染井アキ
崖っぶち
エンタメ系
HSPエッセイ登場!

他人に共感しすぎて疲労困憊
空気を読みすぎて大パニック
痛みや痒みに敏感すぎる

敏感で心配性で、人一倍疲れやすいけど
発見、驚きも盛りだくさん。
そんな **HSPの日常** を綴りました。

HSP → Highly Sensitive Person
以下のような特性を生まれつき持つ人
● 五感が過度に反応する
● 相手の感情やまわりの雰囲気敏感
● 心の境界線がもろく同調しやすいため疲れやすい

産業編集センター

脳科学が解明! わが子に発達障害という ラベルを貼らないで! ASD、ADHDの 「苦手」を乗り越え 自己実現

あおきクリニック院長
昭和大学発達障害医療研究所兼任講師
青木悠太

主婦の友社



自閉症と自己スティグマ

- ASDの診断におけるネガティブな側面のひとつ (Ruiz Calzada et al., 2012)

“I am not normal” (普通じゃない)

“I am inferior” (劣っている)



- 自分が他人に迷惑をかけていることを恥ずかしいと感じ、合理的配慮を受けようとする意志を低下させる (Mason et al., 2018)



マイクロアグレッション (Sue et al, 2010)

日常的な言動や環境を通じた軽蔑をさし、発信者側の意図にかかわらず、敵意・軽蔑・否定的なメッセージを周縁化された集団・人に伝えること (Sueら,2007)

定型発達



相手の意図の有無に関わらない、敵意のある否定的な表現

発達障害





発達障害に対する マイクロアグレッションの例

発達障害なのにすごいね

発達障害者と
一緒に働きたくない

お子さんは大丈夫？

発達障害に見えないね

普通に見えるね

みんなに苦手なものはあるよ
我慢すればなんとかなる





社会的カモフラージュ (Hull et al, 2017)

- 自閉症者が定型発達者に馴染むように自分の行動を修正する努力
(Hull et al, 2017)
- 自閉症者の70%が社会的カモフラージュを自覚し、
「しなければいけない (feel obliged to pretend not to be autistic) 」
と思っている
(Cage et al., 2019; Mandy, 2019)
- 自閉症者は、社会的カモフラージュにより表面的な適応は向上するが、
アイデンティティが拡散し、疲労や不安を招く
(Livingstone et al., 2019)

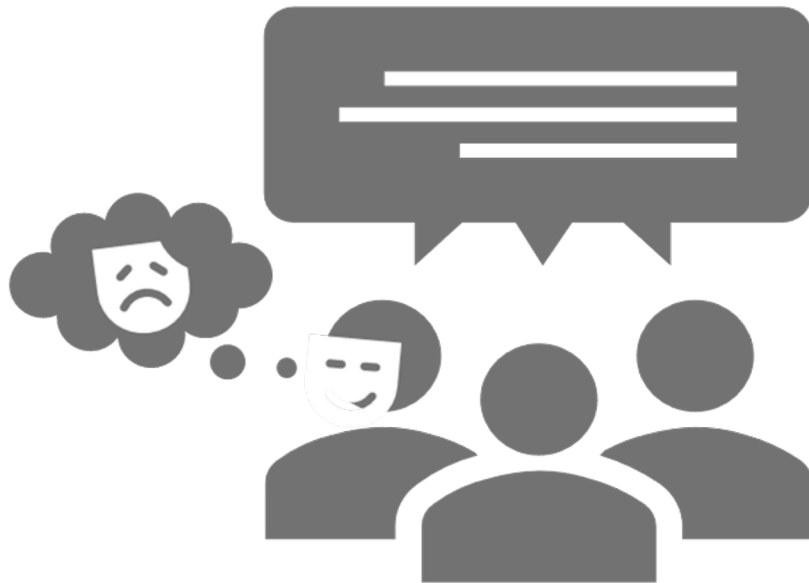
社会的カモフラージュ (Hullら,2017)



補償：非ASD者のふるまいを学び、まねる



同化：非ASD者に合わせた価値観をもつプリをする



マスキング：ASDの特徴を出さないようにする



社会的カモフラージュをする理由

◆「ふつうの世界」になじむため

- 自閉症の人は、同化したい、他者とつながりたい、排除や差別を避けたいという欲求から社会的カモフラージュをする。
- カモフラージュは自閉症関連のスティグマに対する反応を表す
(Cage & Troxell-Whitman, 2019; Pearson & Rose, 2021)

◆人間関係を維持するため

- 女性の自閉症者は、思春期に拒絶されやすいので、カモフラージュを用いて友達を作ったり人から理解されたいという願望を述べている
(Tierney et al.2016)



社会的カモフラージュは メンタルヘルスに悪い

- 社交不安や全般的不安の高まり (Hull et al, 2021)
- 抑うつ状態 (Beck et al., 2020)
- バーンアウト (Pearson & Rose, 2021)
- 希死念慮 (Cassidy et al., 2019)

- 対人関係上の不信感

“本当の私を知ったら人は私から離れてしまう”

(Hull et al,2017)



ここまでのまとめ

自閉症の人には日常的な社会的スティグマにさらされており、心理的負荷がかかっている！

マイクロアグレッション

社会的
カモフラージュ



そもそもの
機能障害



では、我々支援者には 何ができるのか？

個人単位での心理的介入

親子での認知行動療法を利用したASDの心理教育プログラム
(Aware and Care for my Autistic traits: ACAT; Oshima et al,2020)



社会集団に対する介入

オールマイノリティプロジェクト
(All Minorities Project; 大島ら、2022)



本日の発表内容

- 自己紹介
- 自閉スペクトラム症とは
- 自閉症者のメンタルヘルス
- 自閉症者のメンタルヘルスと関連する諸問題：スティグマ・社会的カモフラージュ・マイクロアグレッション
- 社会的介入：オールマイノリティプロジェクトの関連研究の紹介
- 個人的介入：ACATの研究紹介
- Take home message



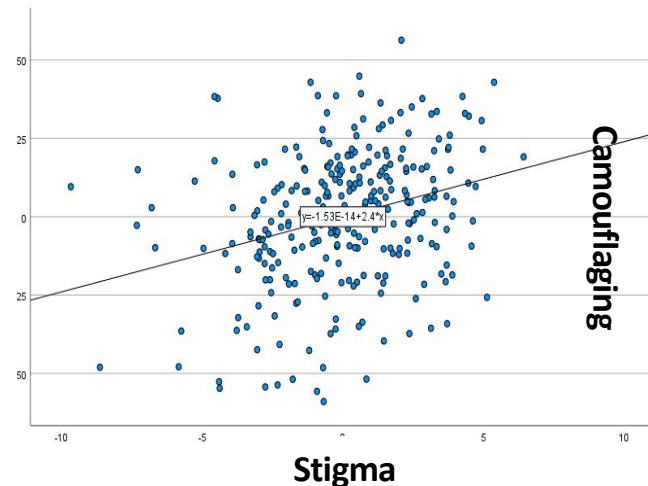
AMP関連研究の紹介

- ①社会的スティグマの知覚と社会的カモフラージュの関連性
(Tamura et al, in submission)
- ②ASD者のマイクロアグレッションと社会的孤立・孤独の
プロセスモデル
(Guan et al, preparing)
- ③ASD者のマイクロアグレッションの体験の実態調査
(Kato et al., preparing)
- ④ASD者の社会的カモフラージュとメンタルヘルスの関連の
国際比較
(Oshima et al., in submission)



①社会的スティグマの知覚と社会的カモフラージュの関連性 結果

| Variable | B | B CI | SE B | β | p |
|--------------------------|--------|-----------------|-------|---------|--------|
| Age | -0.578 | [-1.044,-0.113] | 0.236 | -0.254 | 0.015 |
| Age at diagnosis | 0.394 | [0.026,0.762] | 0.187 | 0.215 | 0.036 |
| Male versus female | 11.473 | [1.987,22.254] | 2.542 | 0.254 | <0.001 |
| Male versus non-binary | 12.121 | [6.470,16.476] | 5.148 | 0.135 | 0.019 |
| Autistic characteristics | 0.366 | [-1.985,2.717] | 1.194 | 0.017 | 0.759 |
| Stigma | 2.373 | [1.448,3.297] | 0.470 | 0.284 | <0.001 |



社会的スティグマを知覚しているほど社会的カモフラージュは増加した

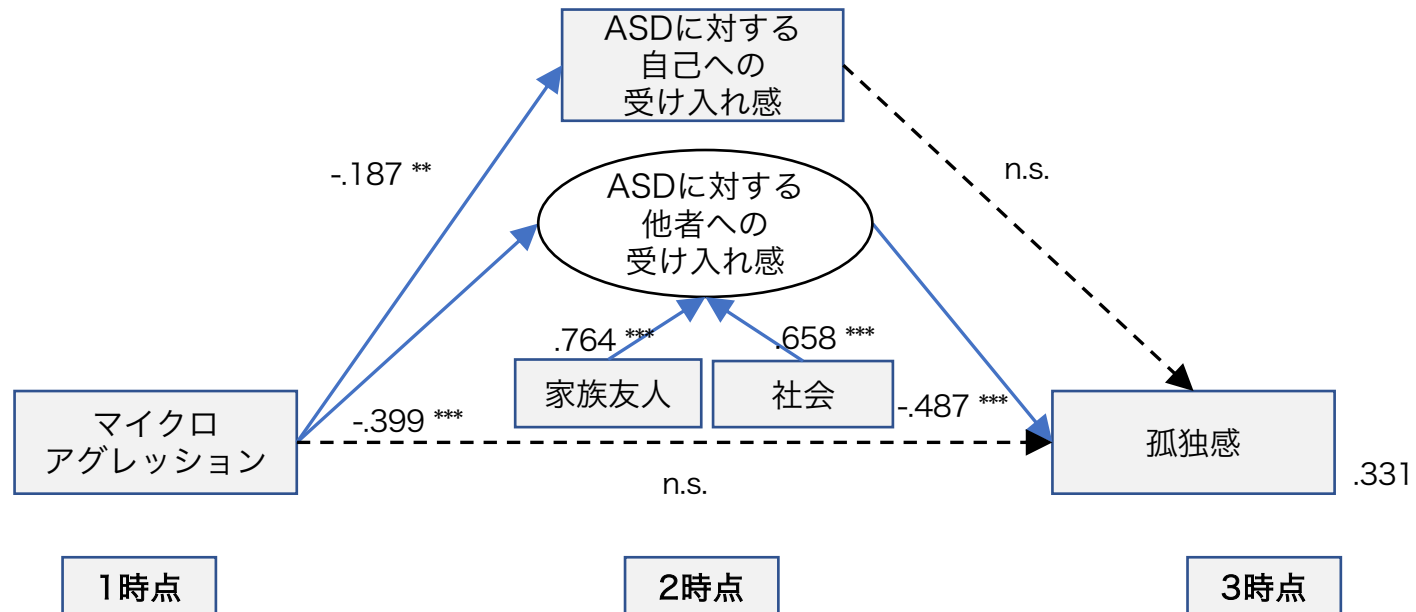
②ASD者への
マイクロアグ
レッションと
社会的孤立・
孤独のプロセ
スモデル

対象者の属性

| 対象者のデモグラフィックデータ ($n = 259$) | | | |
|-------------------------------|---------|--------------|------|
| | | Total | % |
| 性別 | | | |
| | 男性 | 108 | |
| | 女性 | 120 | |
| | ノンバイナリー | 17 | |
| | その他の性別 | 7 | |
| | 回答しない | 7 | |
| 年齢 (SD) | | 29.98 (5.54) | |
| | 範囲 | (18-39) | |
| 自閉症の診断年齢 (SD) | | 22.53 (8.56) | |
| | 範囲 | (0-39) | |
| 就労状況 | | | |
| | 就労 | 125 | 48.3 |
| | 未就労 | 116 | 44.8 |
| | その他 | 18 | 6.9 |
| 合計就業年数 | | 6.25 | 5.3 |
| その他の精神疾患の併存 | | 175 | 67.6 |
| 通院中 | | 239 | 92.3 |



② ASD者へのマイクロアグレッションと社会的孤立・孤独のプロセスモデル 分析結果の一例





③成人の自閉スペクトラム症者の マイクロアグレッション体験の実態調査 目的

18～39歳のASD者を対象に、インターネットを使った自由記述式のアンケート調査を実施し、以下のリサーチクエスチョンを明らかにする

1. これまでの生活で、体験したマイクロアグレッションとは？
2. 体験したマイクロアグレッションからが持つ(隠された)メッセージとは？



③成人の自閉スペクトラム症者の マイクロアグレッション体験の実態調査 方法

Q1

「発達障害を理由として、ほかの人からバカにされたり、見下されたり、理解されない、と感じるような体験の中で、報告しやすいエピソードを1つ教えてください。それは、どのような出来事でしたか？」

Q2

「直接誰かから何かをされたわけではないけれども、発達障害をバカにしていたり、見下していたり、理解されない、と感じるような体験の中で、報告しやすいエピソードを1つ教えてください。」

※各質問の後に、体験時に受け取ったメッセージを質問

主題分析*を使って記述データからリサーチクエスチョンの解明を実施中

*主題分析とは、データセット全体のパターン化された意味を探求し、解釈するために使用される質的研究手法



③成人の自閉スペクトラム症者の マイクロアグレッション体験の実態調査 結果①

| アンケート回答者 330名 | |
|------------------|---------------|
| 現在の年齢（平均 / 標準偏差） | 30.12歳 (5.60) |
| 診断年齢（平均 / 標準偏差） | 22.74歳 (8.65) |
| 自認ジェンダー（人/%） | |
| 女性 | 153人 (46.36%) |
| 男性 | 137人 (41.52%) |
| その他* | 40人 (12.12%) |
| 教育歴（人/%） | |
| 中学または高校卒業 | 95人 (28.79%) |
| 短大・専門・大学卒業 | 214人 (64.85%) |
| 大学院以上卒業 | 21人 (6.36%) |
| ASD以外の診断(有)(人/%) | 112人 (33.94%) |

③成人の自閉スペクトラム症者のマイクロアグレッション体験の実態調査 結果②現段階における分析結果

マイクロアグレッション体験の実態

拡張効果

- 9歳の時祖母に、障害はギフテッドの仲間だからと言われた
- 友だちに、自閉症の人ってすごい能力があるんだよね？って言われた

軽視

- 友人と話している時 友人が私たぶんADHDだから～
- 発達症診断を受けに行きますと、会社の担当者に伝えたら、「違うといいですね」と言われた
- 自分にも障害的なものがあるからさと言われた

過小扱い

- 心理カウンセラーが、私と話したし、母親と話した後、自分に対する接し方突然変わった。
- 高校のカウンセラーに相談しに行った時、発達障害の診断を受けたいことを伝えると、話し方が幼児に話しかけるように変わった

差別にあふれた社会

- 就活ナビの広告、広告の中の女性が背中を向けて親指を立てていた。発達障害者は顔を出してはいけないのか。
- フェイスブックの広告 「発達障害者やストレス耐性が低い人、いわゆる社会不適合者を炙り出すテスト(多くの企業が採用)」

隠されたメッセージ

すごい能力をもっていない
自分は、人に無価値

発達障害はみんなある

発達障害の言葉は信用性
ができない

個人を見ず、障害だけ
をアイデンティティに



④ ASD者の社会的カモフラージュとメンタルヘルスの関連の国際比較

社会的カモフラージュの比較

ASD

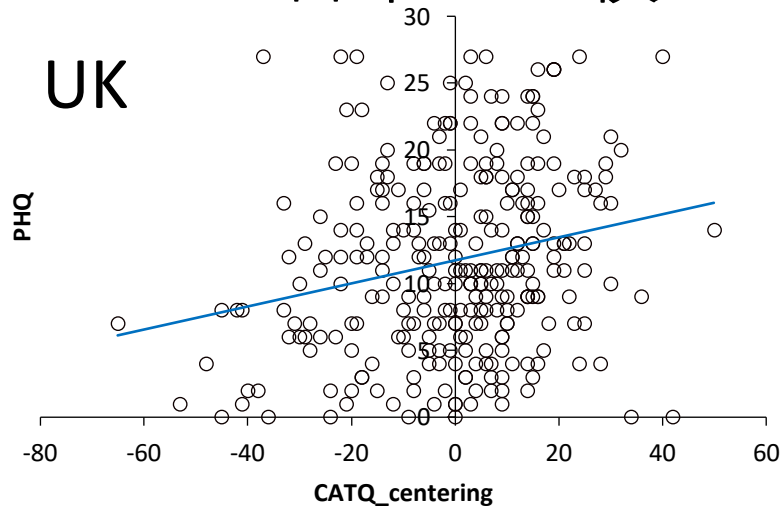
| | Country | n | Mean age at autism diagnosis (range) | total score | Compensation | Masking | Assimilation |
|------------------------|---------|-----|--------------------------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| The present study | Japan | 204 | 28.70(0-53) | 4.21 (0.88) | 3.72 (1.17) | 3.99 (1.14) | 4.99 (1.01) |
| Hull et al. | U.K. | 200 | 34.47(2-66) | 4.79 (0.99) | 4.42 (1.31) | 4.55 (1.35) | 5.29 (1.15) |
| Summary T-Test (welch) | | | | -6.22*** | -5.66*** | -4.50*** | -2.78** |

Non ASD

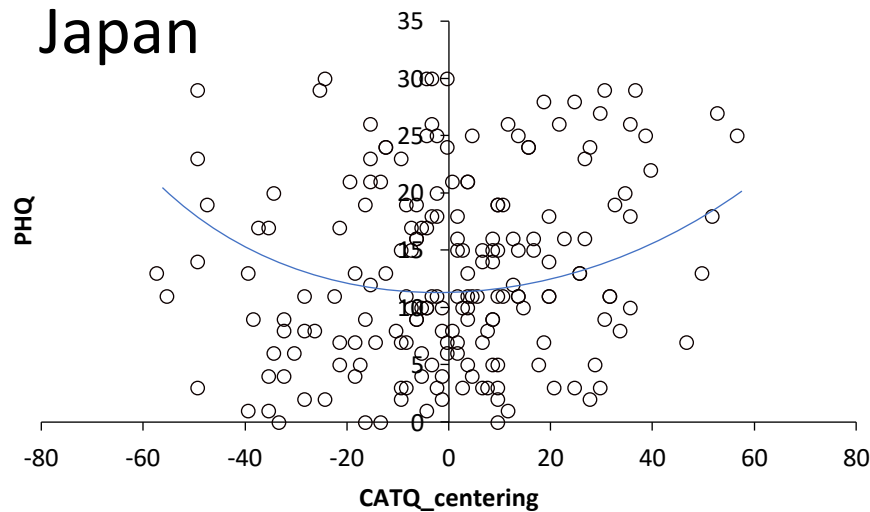
| | Country | n | total score | Compensation | Masking | Assimilation |
|------------------------|---------|-----|-------------|--------------|-------------|--------------|
| The present study | Japan | 450 | 3.51 (0.80) | 3.00 (1.12) | 3.82 (0.88) | 3.78 (0.83) |
| Hull et al. | U.K. | 202 | 3.48 (1.04) | 2.89 (1.27) | 4.29 (1.10) | 3.32 (1.27) |
| Summary T-Test (welch) | | | 0.36 | 1.06 | -5.35*** | 4.72*** |

結果②社会的カモフラージュと抑うつとの関連性：

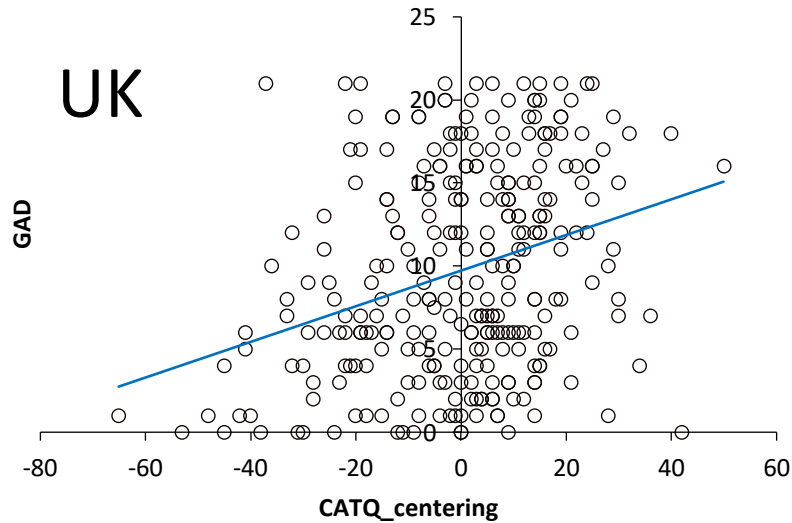
UKと日本の比較



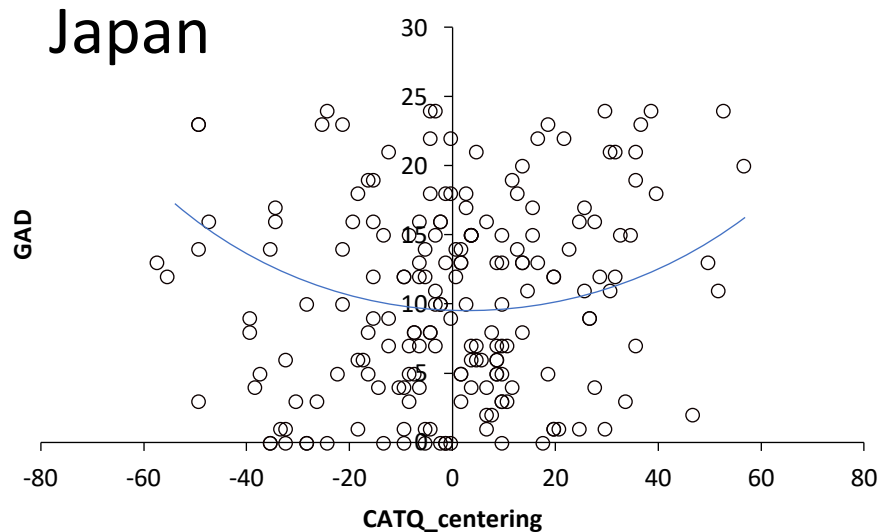
- UK は直線的な関係
- 日本は曲線的な関係



結果②社会的カモフラージュと不安の関連性： UKと日本の比較



- UK は直線的な関係
- 日本は曲線的な関係





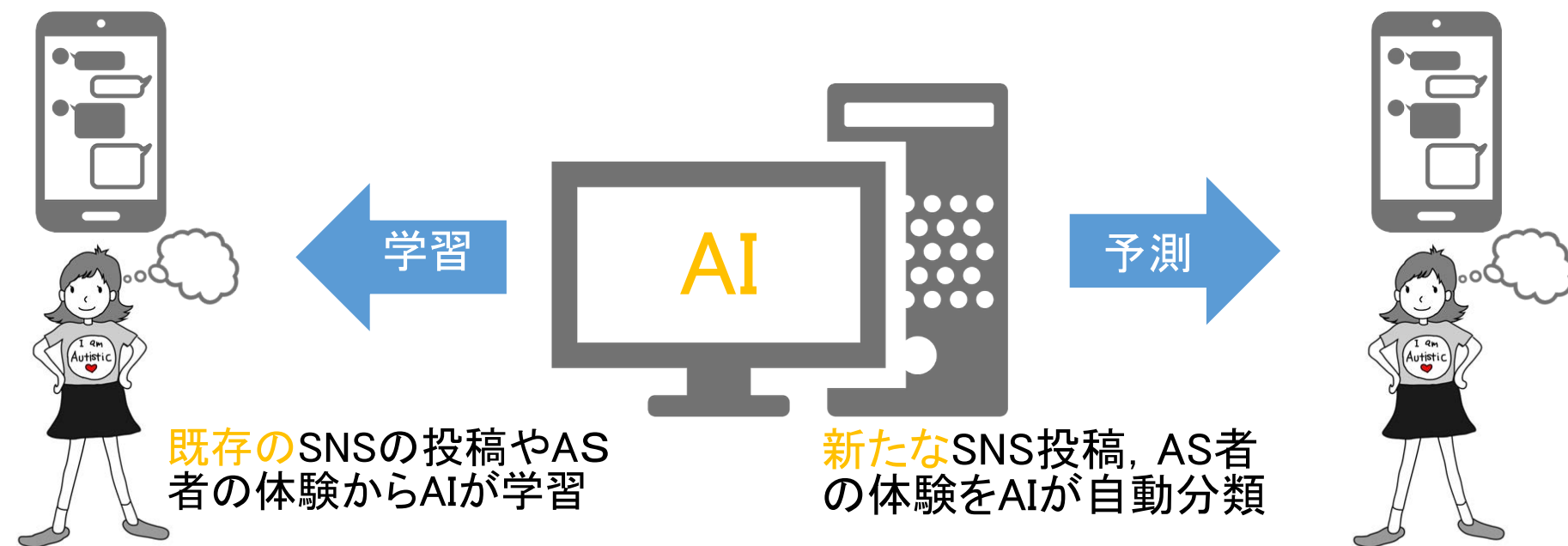
AMP : ここまでのまとめと展望

- ASDはそのマイノリティ属性から、マイクロアグレッションを受けやすい
- ASD者へのマイクロアグレッションを減少させることで、社会からの被受容感が高まり、社会的孤立・孤独感が減るかもしれない

→現在、発達障害の支援者に対するマイクロアグレッション
減らす心理教育プログラムを作成中

AI×オールマイノリティPJ

- ASD者に対するマイクロアグレッション体験をもとに、自然言語処理でマイクロアグレッションかを自動で分析する



➡ AIによる自動化により、定型者もASD者もマイクロアグレッションを意識化し、社会と個人の行動変容へ

本日の発表内容

- 自己紹介
- 自閉スペクトラム症とは
- 自閉症者のメンタルヘルス
- 自閉症者のメンタルヘルスと関連する諸問題：スティグマ・社会的カモフラージュ・マイクロアグレッション
- 社会的介入：オールマイノリティプロジェクトの関連研究の紹介
- 個人的介入：ACATの研究紹介
- Take home message



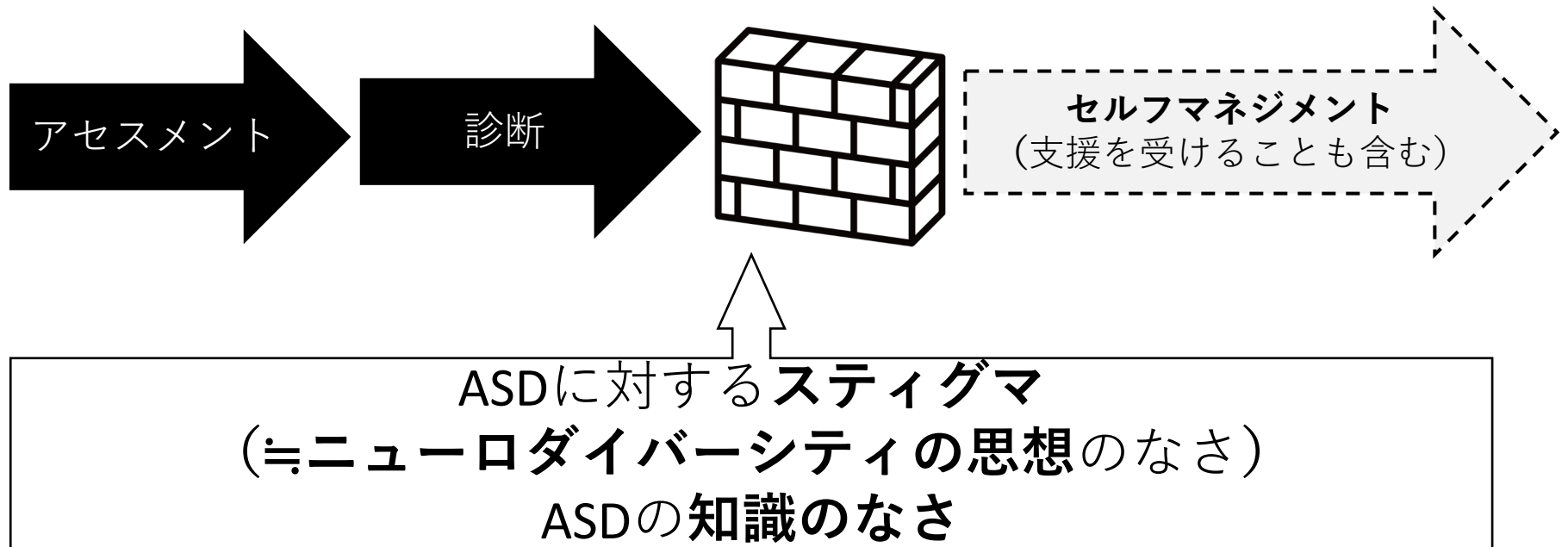
個人単位での心理的介入 ACAT (Aware and Care for my Autistic Traits)

- ACAT = ASDに気づいてケアするCBT
- ASDの診断告知：自己理解（強みも含めて）やアイデンティの形成、適応感の向上、キャリア形成に役立つ（Bridget et al, 2020）
- 自閉症の自己理解やポジティブなアイデンティの構築・機能的対処方略の構築を最大限に引き出すプログラム（Oshima et al, 2020）





ACAT開発の背景： 自閉症の支援への障壁





ACATにおける自閉特性の心理教育

構造化された視覚的支援



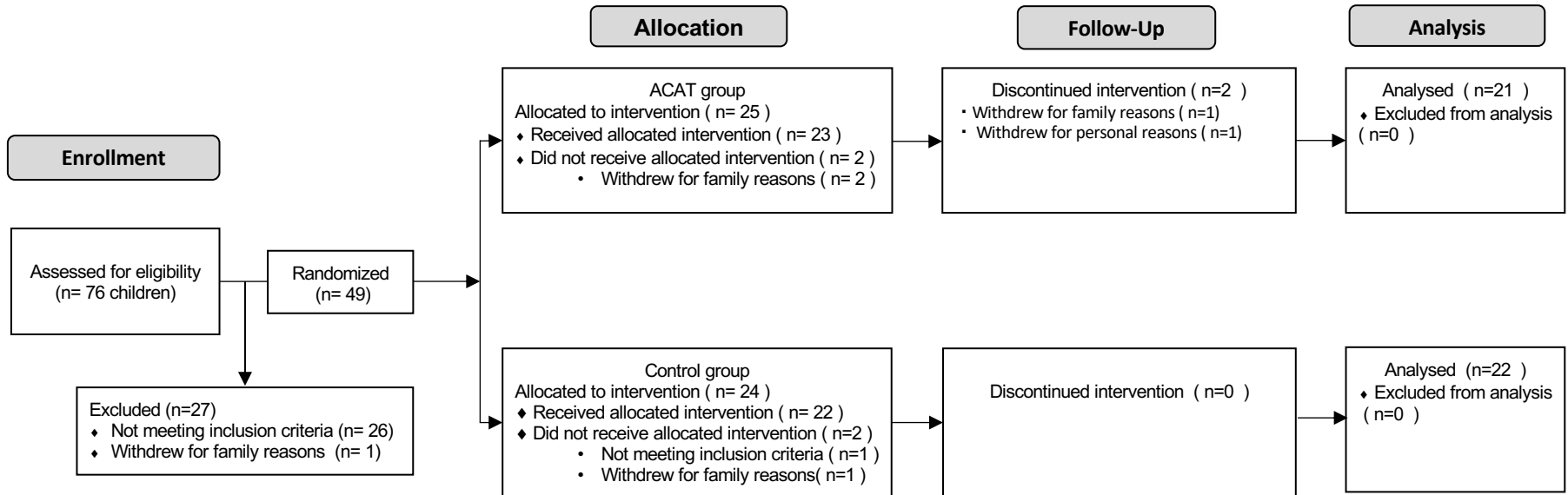
ASD特性をメタ認知
できていない状態



ASD特性をメタ認知
できている状態

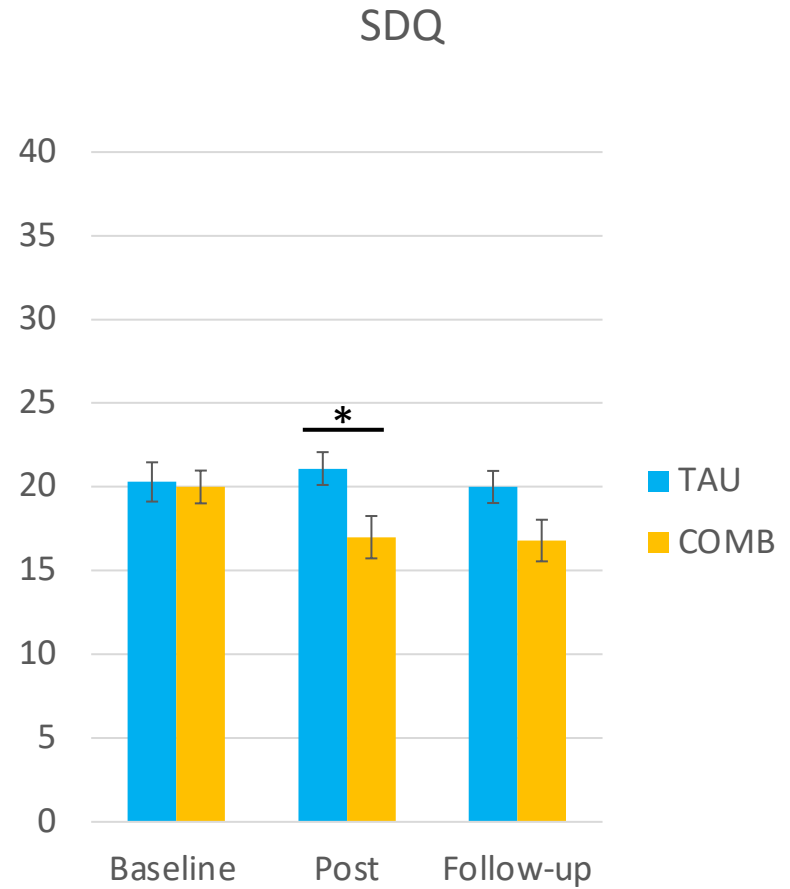
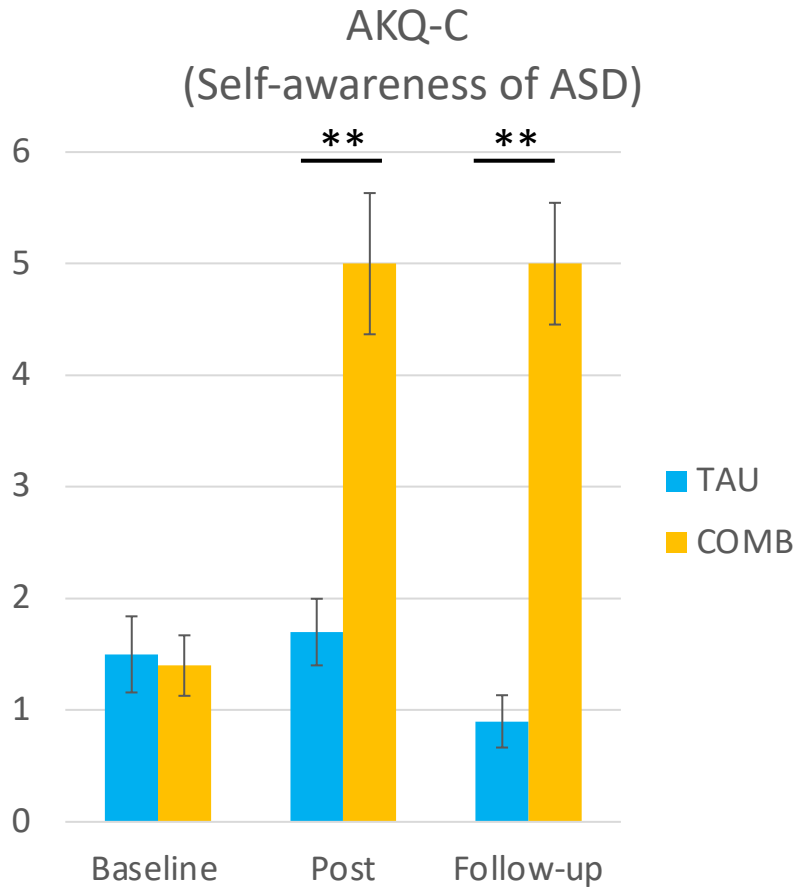
- メタ認知的モニタリング
- ・ 特性のモニタリング
 - ・ 困り感の外在化
- メタ認知的コントロール
- ・ 適切な対処方略の構築

児童思春期の自閉症者と保護者に対するACAT のランダム化比較試験(Oshima et al, in submission)



| | Whole sample N = 45 | TAU group N = 22 | COMB group N = 23 | Comparison of TAU and COMB group (t-test or χ^2 test) |
|---|------------------------|---------------------|----------------------|---|
| Males / females | 33, 12 | 17, 5 | 16, 7 | p = 0.5589 |
| Mean age in years (SD) | 13.5 | 14.1 | 12.8 | p = 0.0415* |
| Age range in years | 10 to 17 | 11 to 17 | 10 to 17 | |
| Mean age at diagnosis of asd in years (SD) | 10.3 | 10.4 | 10.2 | p = 0.8780 |

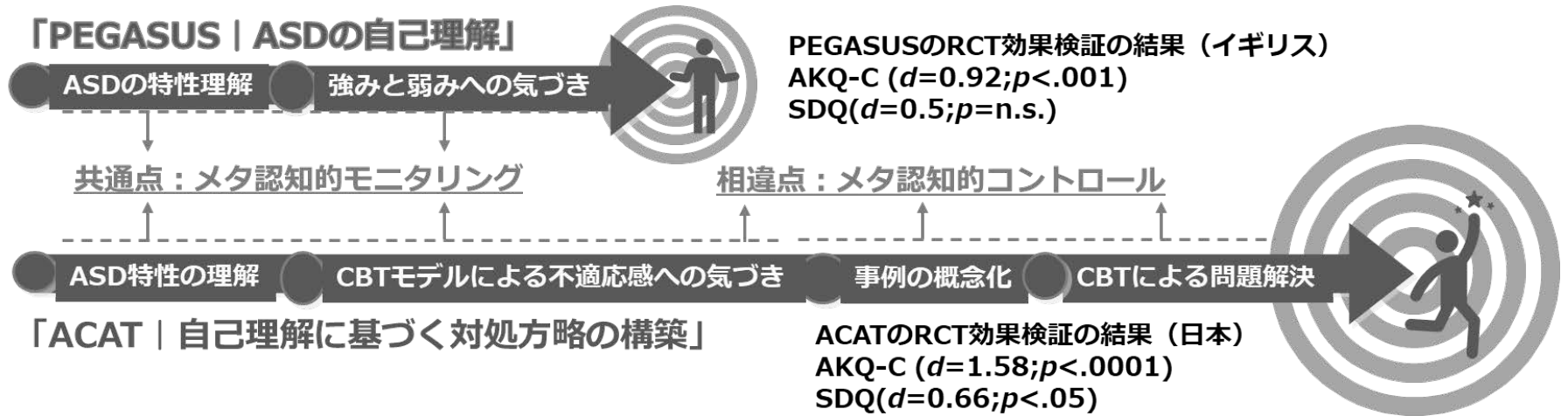
結果



* $p < .05$, ** $p < .01$ Error bars represent standard error.



ACAT臨床試験 ASDの自己理解プログラム (Gordon, 2015) との比較



ACATの治療構造の全体イメージ





1.問題の気づき

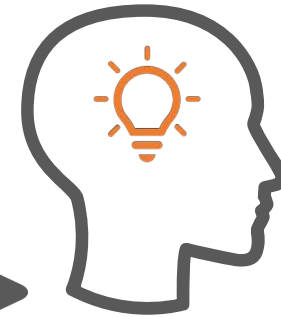
構造化された視覚的支援



ASD特性をメタ認知
できていない状態



- メタ認知的モニタリング
- ・特性のモニタリング
 - ・困り感の外在化
- メタ認知的コントロール
- ・適切な対処方略の構築



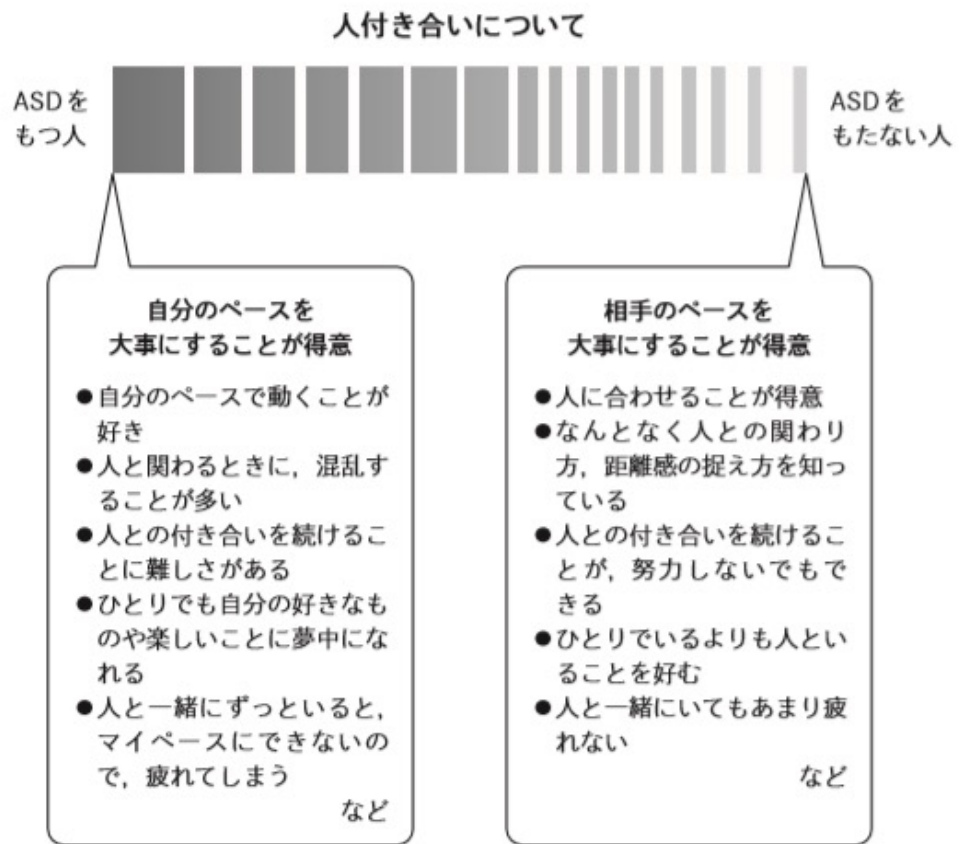
ASD特性をメタ認知
できている状態

ASDの特性について解説する

人付き合いについての特性

「人付き合い」とは、人の気持ちや意図をどのように汲み取るか、どの程度、人に興味をもつか、そして、どのように人間関係を維持するか、といったことをいいます。
 ASDをもつ人ともたない人では、それぞれこのような特性があります。

- ASD児者のASDの「特徴をなぞる」ように聞いていく
- 当てはまる箇所にマーカーを引くなどをしてよい
- 具体例を聞きだしていく



自閉特性とは

認知特性

- 「物のとらえ方（まとめて考えること）について」
- 「計画や段取りをすることについての特性」
- 「はっきりしないことへの推測について」

社会的 コミュニケーション

- 「人づきあいについて」
- 「コミュニケーションについて」

興味の限局と 常同的・反復的行動

- 「切りかえについて」
- 「興味のもちかたについて」
- 「感覚のとらえかたについて」

「行動や気持ちのコントロールについての特性」



自閉特性の強みと弱みを 描き出し、理解する



「人付き合い」の特性

「周りの人が、自分にどうしてほしいと思っているか」という人の期待にあまり興味がない



弱み

つついマイペースになり、「自分勝手」「わがまま」と注意を受ける



「人付き合い」の特性

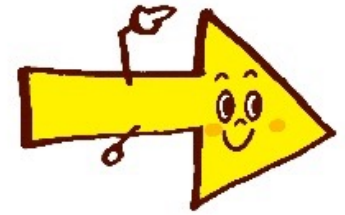
「周りの人が、自分にどうしてほしいと思っているか」という人の期待にあまり興味がない



強み

マイペースなので、自分の価値観に合った行動ができる

自閉特性にニックネームをつけ、
自己モニタリングしやすくする



Aさんは15歳の女の子ですが、同じ行動を同じようにしないと気が済みません。たとえば、靴は右側からはくこと、歯は右上から磨くこと、バスは右側から座ること、などです。この「右へのこだわり」に対して、Aさんは「ライトちゃん」とつけました。

(注：英語で「右」を「ライト」というから)

自己モニタリングを通して、 メタ認知を育てる

- 自閉特性の教育⇒モニタリング/外在化
⇒メタ認知の向上

ASDの特性

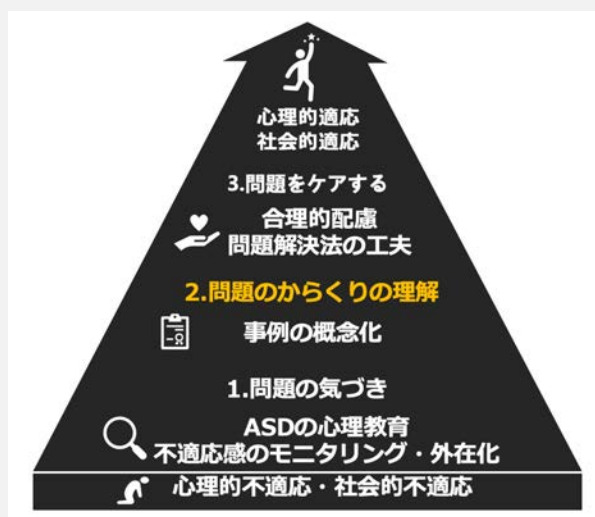
自分の反応



私は「細かいことが目に
付く」ので、「ああこれ
がダメ」と思って、すす
まないのか・・・！

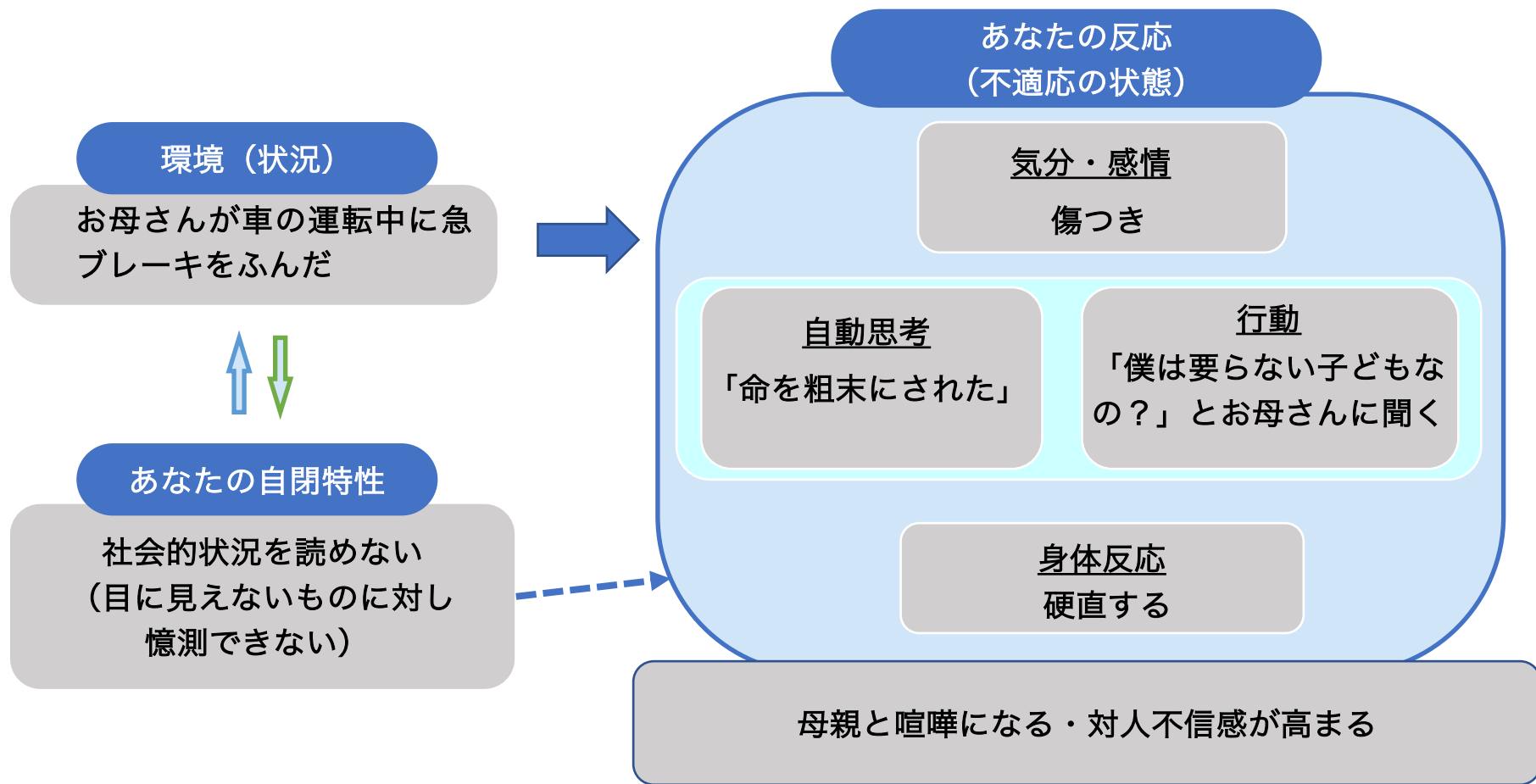


2.問題のからくりの理解



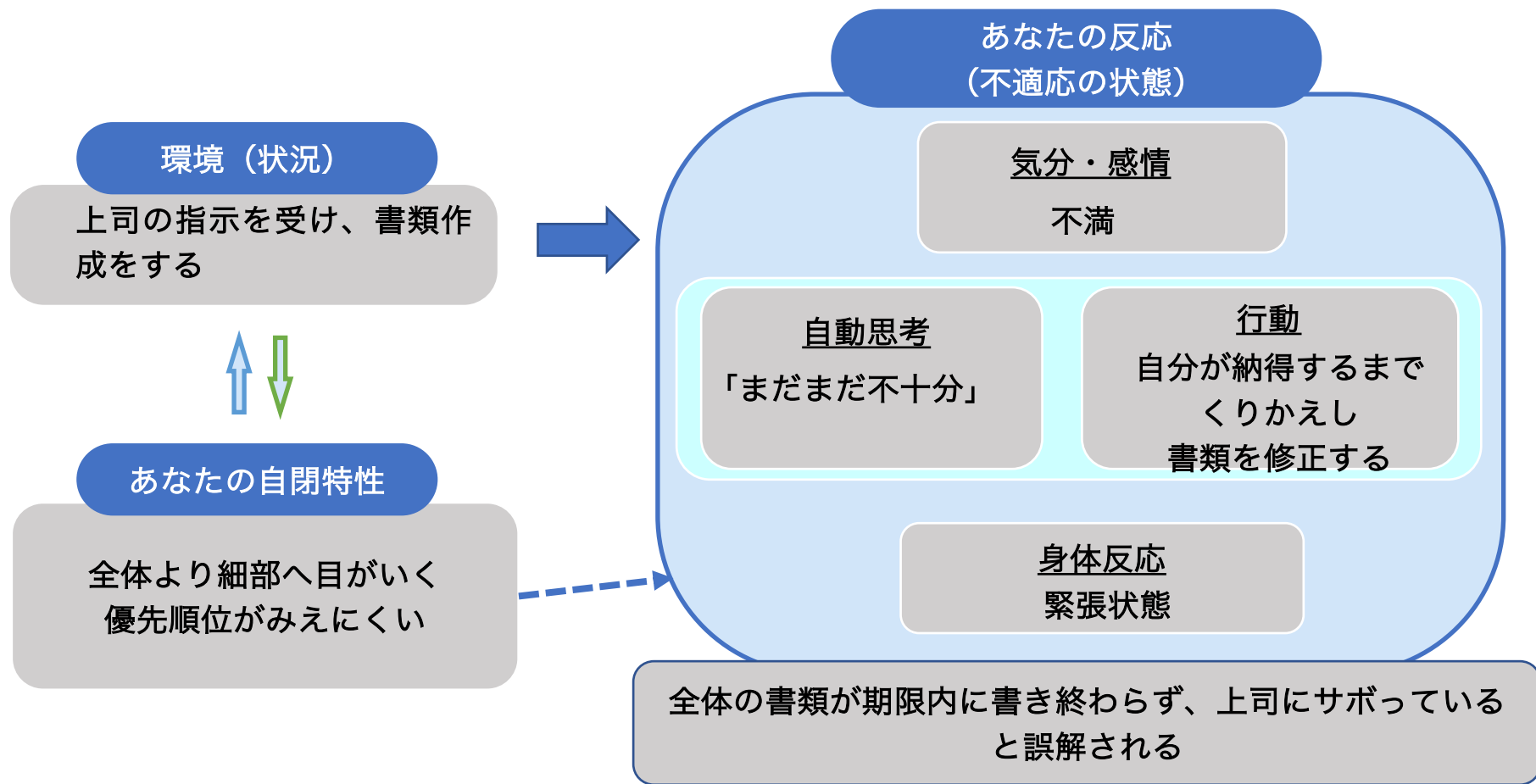
- 「ASDの特性」を加えてケース概念化を行うことで、認知・行動パターンのメタ認知を、社会的不適応、心理的不適応を含めて、包括的に強化することができる
- 定型発達を前提とした場合には事例概念化が難しい認知・行動パターンでも、ACATでは介入の標的にすることが可能になる

STEP2.問題のからくりの理解 | 小学生の事例



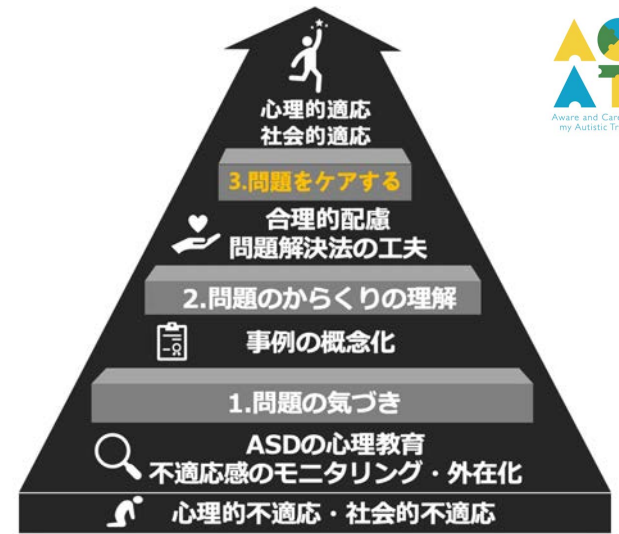
ACATは、個人と環境の相互作用、および個人の内的反応（認知・感情・身体反応・行動）の相互作用をモニターし、外在化して理解することでメタ認知を強化し、問題解決を認知と行動を能動的に変容させて促進するというプロセスを経る

STEP2.問題のからくりの理解 | 成人の事例



- このような環境→反応の中に自分の自閉特性がどのような影響を与えているか視覚化して理解していく
- 自己理解のみならず、他者への理解を促すことも可能となる

3.問題をケアする



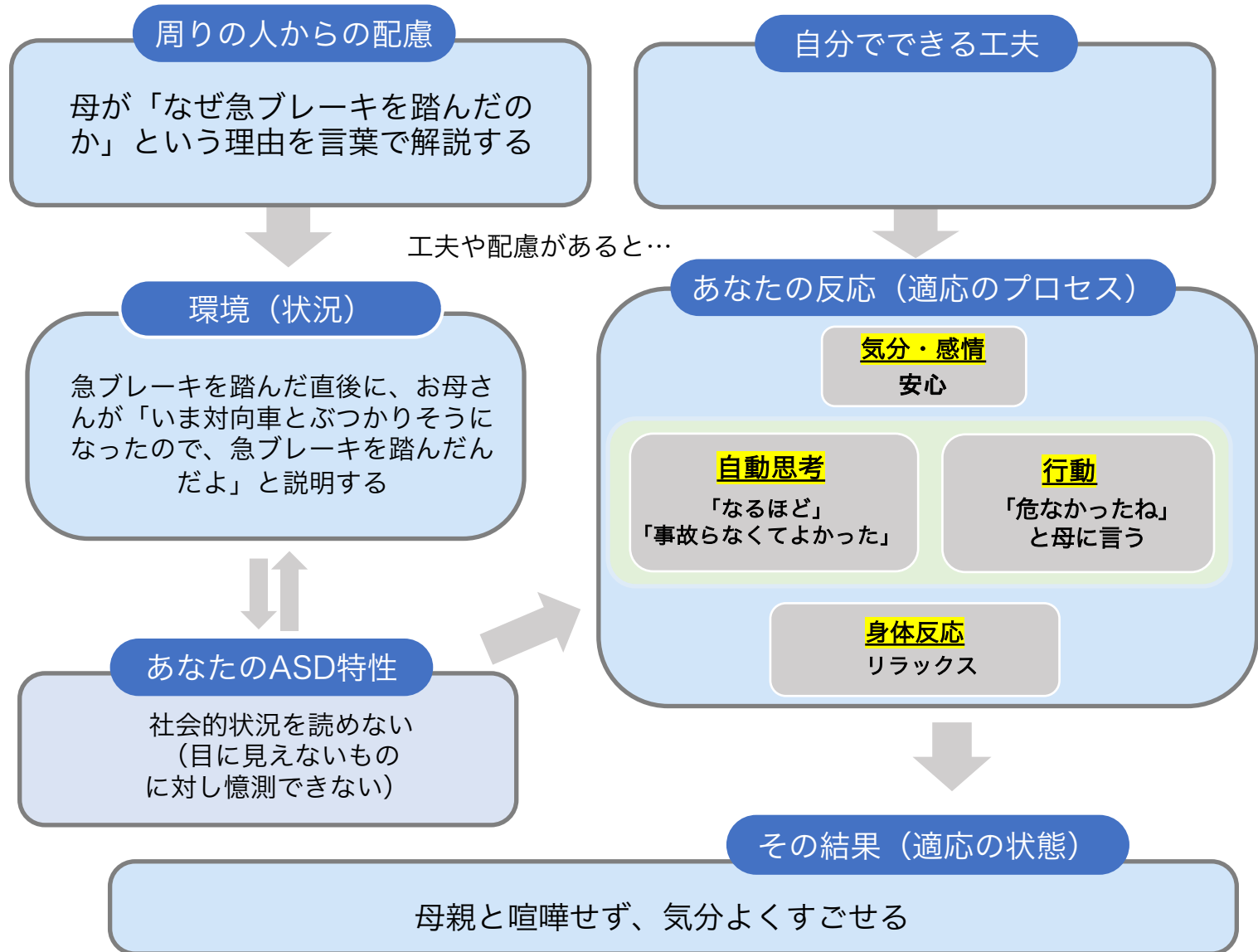
①自分でできる工夫

- 自己理解に基づき、認知や行動を変容することで、活動能力を向上させるアプローチ

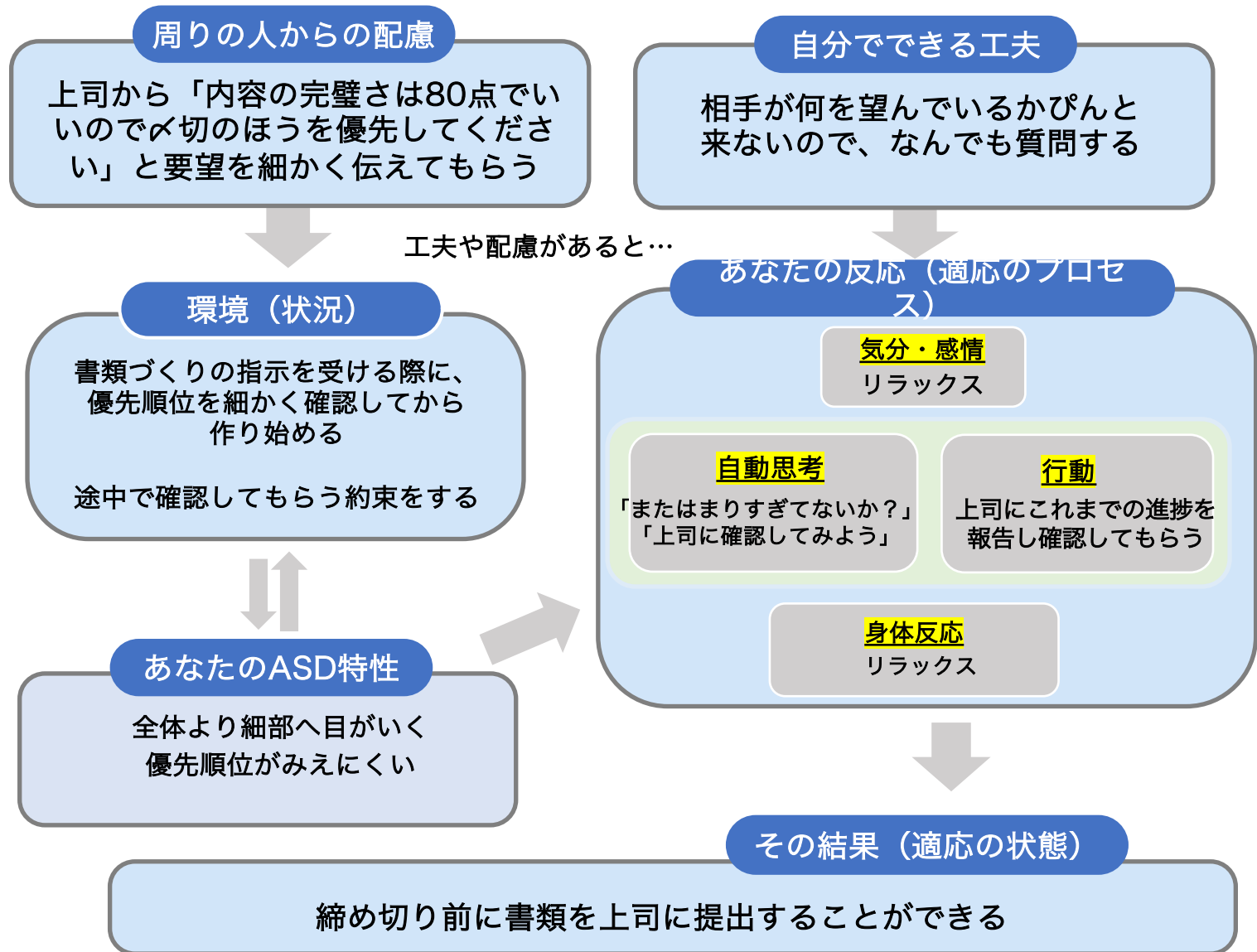
②周りの人からの配慮

- 自身の活動能力の向上は意図せずに、他者に支援を要請する
- 「要請してよい」という認知と「要請する」という行動を獲得することで、社会適応を向上させるアプローチ
- 合理的な配慮の提供を要望することと重なる

STEP 3. 問題をケアする | 小学生の事例



STEP 3. 問題をケアする | 成人の事例





ACATのまとめ



- ASDと診断されたことに対する価値を最大限引き出す、CBTを用いたセルフヘルプを目指すプログラム
- CBTのモデルを使用した自閉特性の理解に基づき、個人の工夫および合理的配慮が実現でき、適応の向上を狙う
- より欠損<差異というニューロダイバーシティに基づくアイデンティティの再構築・スティグマの解消がなされることを意図している

本日の発表内容

- 自己紹介
- 自閉スペクトラム症とは
- 自閉症者のメンタルヘルス
- 自閉症者のメンタルヘルスと関連する諸問題：スティグマ・社会的カモフラージュ・マイクロアグレッション
- 社会的介入：オールマイノリティプロジェクトの関連研究の紹介
- 個人的介入：ACATの研究紹介
- Take home message



本講演のTake home message

- ASD者はマイノリティ属性から、様々なマイクロアグレッションを受けやすく、孤立化しやすい
- **社会的介入**：支援者の持つスティグマやマイクロアグレッションの可視化と周囲の人のマイクロアグレッションのコントロールが必要
- **個人的介入**：ASDの特性を自己理解すること・周囲にも理解してもらうことで、本人に合う合理的配慮を受けること

→様々な人が共存できる社会に！

Special Thanks

土屋 賢治

高橋 史

和田 真

井手 正和

市川樹

清水 栄司

田村 真樹

高階光梨

管 思清

国里 愛彦

高橋 徹

辻 拓将

小川 晋一郎

秦 正顕

池内孝啓

榎本大貴

代田剛嗣

野口 晃菜

日戸由刈

本田秀夫

千葉市発達障害者支援センター

浦尾悠子

中川彰子

ご清聴ありがとうございました

